

中国語 (Chinese)

中国語入門 (Introductory Chinese)

(工 ((機)1 年))

施国恩・非常勤講師

1 単位 後期 水 7・8

(平成 19 年度以前の授業科目: 『中国語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『中国語 (1)』)

【授業の目的】 前期で学んだ発音や基礎文法を生かし、そこから一步進んだ会話ができるように、日常生活に必要な中国語の表現方法や話し方を身に付ける。また、中国人の考え方、生活習慣、中国の文化、中国の社会事情を紹介し、隣国である中国に対する理解を深める。

【授業の概要】 テキストで新出単語・文法事項を学習し、発音練習をした後、教師と学生、あるいは学生同士による会話練習に最も重点を置き、会話運用能力を高めていく。また、中国に関係するビデオ教材や CD 等も適宜使用し、中国事情の紹介をする。

【キーワード】 コミュニケーション、中国語、発音、基礎文法

【到達目標】 中国語で場面に応じたコミュニケーションができる。

【授業の計画】

1. 第 8 課 街上 (街)
2. 第 8 課 (前置詞 “从” “往”, 時間量の言い方, 動詞につく “了”)
3. 第 9 課 京都
4. 第 9 課 (“在”, “是 ~ 的” 構文, 進行の表し方)
5. 第 10 課 寿司
6. 第 10 課 (主述述語文)
7. 復習
8. 中間テスト
9. 第 11 課 滑雪 (スキー)
10. 第 11 課 (助動詞 “会”, 二重目的語を取る動詞)
11. 第 12 課 動物園
12. 第 12 課 (方向補語, 助動詞 “可以”)
13. 第 13 課 春假 (春休み)
14. 第 13 課 (疑問詞の不定用法, 助動詞のまとめ)
15. 期末試験
16. 総括授業

【教科書】 相原 茂 陳 淑梅 飯田 敦子 『初級テキスト 日中いぶこみ広場』 (朝日出版社) 2011 年, 2,625 円 (必ず購入すること) ※前期のテキスト終了後, これを使用するが最後の課まで到達するとは限らない。

【成績評価の方法】 小テスト, 期末試験, 授業への取り組み状況により総合的に評価する。

【再試験の有無】 有

【受講者へのメッセージ】 授業中は恥ずかしがらず, 積極的に声を出して練習しましょう。予習・復習時には, 教科書付録の音声教材を活用して下さい。繰り返して聞くことで中国語の音とリズムに慣れ, 「聴き取る能力」と 「話す能力」を養うことができます。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221264>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 施 .